

家

●今、庫裡を新築中です。一階の大広間は、法事やお葬式の際、皆さまにお使いいただく空間でもございませう。檀家の皆さまにはいくばくかのご寄付をいただくことになろうかと存じます。なにとぞご理解ご協力くださいませうようお願い申し上げます。

●法事膳を提供し始めたのは、今回解体した家のさらに前の家のおかげで、まだ若いころ近所の法事に呼ばれて行ったら、炉端が掘ってあり、自在



9月8日、家に感謝の読経。その後、記念写真



11月24日、上棟式がおこなわれました。餅まきの様子

鉤に鍋が掛けてあった。そのまわりを童子つこだちが走り回っていた。危ないなあ、これからはお寺の座敷を利用してもらった方が良くも思ったのが始まりだそうです。

●以前の庫裡に私は48年間住みましました。その最初のころの話。自分の部屋を作ってもらったのは嬉しかったのですが、用意してもらった二階の部屋には「床の間」があったのでした。なんでこんな古くさいつくりにするのだろうか？ 私はそこに机を置き、上にテレビをセットしてしまいました。軸二幅を飾り、血脈と涅槃金が入った袈裟行李以外はなにも置かない。そこが神聖な空間であり、

毎朝対座して心を正す場所であることを教えられたのは本山に行ってからでした。

●中田の青木保雄さんの何回忌かの法事とき、青木家の奥座敷の祭壇を見て、列席していた泉田英雄さん(奥さまの弟)が「奥座敷は仏さんが帰ってくる場所なんだなあ」とおっしゃったことがありました。泉田君(旧姓小高英雄)は私の同級生で現在豊橋技術科学大学の准教授です。専門は建築史学。「奥座敷は仏さんが帰ってくる場所」…含蓄ある指摘です。

●故大村智一医師からお聞きした話。「朝起きたら窓を開けて朝の気を入れるんです。『寒い』とか言っても健康が一番良い、基本的なことをしない時代になってしまいました」

●歌手のエボと番組を作っていたとき、エボが公演で訪れた出雲で聞いた話をしたことがあります。ある家で新築することになったんだけど、前の家の土壁を練りなおしてまた使ったって。何故だと思っ？ 前の家の土壁には、家を建てたときから住んでいる微生物が代を重ねてずーっと生きていくからなんだって…という内容だったと思います。家の命を絶やさないといいのは、そういうことですね。大事なものは目に見えないと言いますが、さすが

東北新幹線古川駅から徒歩1分

くらしま齋苑

内覧随時受付中!

お気軽にお電話ください

大崎市古川駅前大通2-4-12

総合案内

0229-23-9111

墓石・記念碑の設計施工

墓石ショップ

新生古川店

年中無休

大崎市古川荒谷字新芋川九四一

☎ 0229-27-1483

季刊

正恵

副住職編集

玄松院 寺報

〒987-0024 宮城県遠田郡美里町中峠字十二神117 三浦 正恵
fishmanmiura@msi.biglobe.ne.jp

叔父正軌

私には「発明」を生き甲斐にして、いる尊敬すべき叔父(正明住職の弟 三浦正軌さん)がいます。

正軌おんちゃんは、原発問題に関して、明快な考えかたをします。

「市民や会社が電気を作っちゃえばいいんだよ。そうすれば、リスクの高い原発を誰も欲しと言わなくなる…」そう言ったあとで電気作り方を教えてくれるところが正軌おんちゃんの凄いとこです。

「ソーラーがあるだろ。あれは夜は発電しない。あたりまだだね、太陽が沈んでいるんだから。でも、夜も

太陽と同じ光が当たっていたとしたら？ 発電するでしょ。太陽と同じ光量も夜も当てればいいんだよ。では太陽と同じくらいの強い光をどのようにして発生させるか？ 乱反射を利用する。表面がデコボコした磨りガラスがあるよね。昭和の時代、片側がデコボコしたガラス戸があったでしょ。あれのツルツルした側にクロームメッキを施して遮光すると乱反射する鏡状態になる。(乱反射をバカにしちゃいけないよ。昼一畳ぶんの乱反射鏡に百ワットの電球をかざしてごらん。何千倍にも増幅して目を開けていられなくなるぞ。)

さて電源はDC12Vのバッテリーを使う。そしてお椀型の反射板のなかに白熱灯をセットして点灯させる。そこで集めた光を複数の光ファイバーを通して各先端球で受ける。先端球の網を、クロームメッキを施した部分と乱反射ガラスの間に挟んだ状態に仕組む。それをソーラーパネルにかぶせる。そうして発光させる。

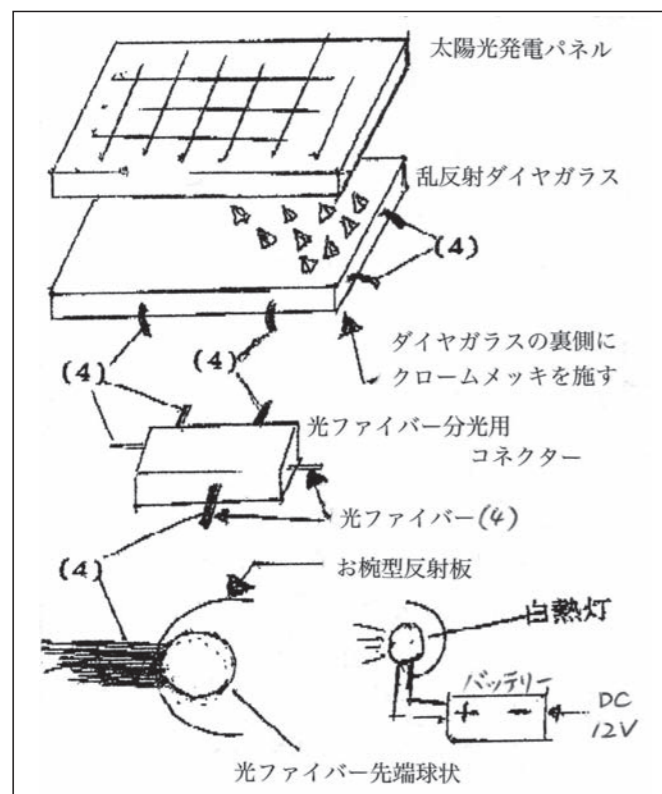
もっとあるぞ。風力や波力が注目をあびているが、俺だったら引力を利用するね、半径20メートル(高さ40メートル)の輪を作る。五階建てのビルくらいの高さになるかな。輪の幅は50センチくらいでいい。その輪の端で、砲丸投げの玉のような重

い玉を次々に受けとめ、底辺にきたときに放出されるようにするんだよ。輪は玉の重さで回ります。水の代わりに重い玉で回る水車と考えると、早く回らうと解りやすいかな。発電するほど早く回らうか？ ジャア風力発電の羽はプロペラ飛行機のように目に見えない早さで回っているか？ 回っていないだろ。アレは、なかで歯車を噛ませてあるんだよ。大きい歯車はものすこい早さで回る。小さい歯車はものすこい早さで回る。小さい歯車にS極とN極をセットして、外側に固定させたS極とN極のなかで回せば電気は起きる。どうだ？ どうだと言うときの正軌おんちゃん

んの笑顔が私は好きです。

今、ソーラーパネルを屋根にセットした家が、わが町にもどんどん増えてきています。東北人は寡黙(かまくら)で声高に原発をとなえる人はいませんが、しかし、福島を悲劇をくりかえしてはならないと誰しも思っているはずなんです。ソーラーパネルを屋根にセットした家々が、無言のうちには、「危ないエネルギーはいりません」と表明しているように私には見えません。そんなソーラーパネルに正軌おんちゃんが開発した発光アダプターがかぶせられ、四六時中太陽が発電が実現したら、と考えると興奮して夜も眠れません。

正恵



叔父は、この装置に関して「知的所有権」の創作事実証明を取得しています。